

アートの実験空間 2022-23:

富山大学芸術文化学部複合領域メディア表現研究室

FACTION

—フィクションとノンフィクションの間—

2022 2023
12.17 [土] → 1.17 [火]

10:00-18:00 最終入場 17:30

休館日 | 水曜日・年末年始(12月28日[水]—1月4日[水])

会場 | アートハウスおやべ 展示室1・2

入場料 | 無料

主催 | アートハウスおやべ [(公財) クロスランドおやべ]

共催 | アートハウスおやべ『アートの実験空間』実行委員会

後援 | 小矢部市教育委員会、小矢部市芸術文化連盟、北日本新聞社、

富山新聞社、読売新聞北陸支社、北陸中日新聞、朝日新聞富山総局、

北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、FMとやま、

エフエムとなみ、となみ衛星通信テレビ

協力 | 富山大学芸術文化学部

【同時開催】光のアートガーデン

会期 | 2022年11月19日[土]—2023年1月17日[火]

17:00-21:00 *年末年始は消灯

会場 | アートハウスおやべオープンギャラリー

作家 | neutral production

 アートハウス おやべ
ARTHOUSE OYABE

佐藤弘隆《メルヘン写生会》のための記録写真(部分) 2022年

アートの実験空間 2022-23:

富山大学芸術文化学部複合領域メディア表現研究室

FACTION

—フィクションとノンフィクションの間—

「アートの実験空間」は、新たな美の創造をめざす作家やグループに、既存の枠組みにとらわれない自由で実験的な作品発表の場を提供する展覧会シリーズです。

フィクションとノンフィクション——完全な創作か、事実に基づく創作か。これらの境目は時に曖昧なものです。小説「ルーツ」(1976) で知られる作家アレックス・ヘイリーは、ファクト(事実)とフィクションを織り交ぜた創作の形式を「ファクション(faction)」と呼びました。現実と仮想世界が交錯する昨今のメディア環境において、ファクション的なものはもう一つの現実となりつつあります。

本展では、映像・音響・通信・機械工学などの複合的な要素を組み合わせた芸術表現を研究・実践する、富山大学芸術文化学部複合領域メディア表現研究室の取り組みをご紹介します。現実の出来事やデータを紐付けながら、仮説や物語、空想科学的な要素を織り交ぜて表現される作品世界は、私たちの現実に対してどのような示唆を与え得るでしょうか。リアルとヴァーチャル、現実と虚構を行き来する"ファクショナル"な作品群を通して、現実世界と創作の関係、多様化するメディア表現の可能性について考えます。



佐藤弘隆《金閣寺 Super Resolution》(部分)
2022年(参考図版)



アシダマドカ《デンキユーザーダ》2021年
(参考図版)



飯沼友梨《空想漫才》2022年(参考図版)

参加作家

富山大学芸術文化学部複合領域メディア表現研究室

教員: 佐藤弘隆、西島治樹

修了生: アシダマドカ

卒業生: 飯沼友梨

在学生: 川越梨央、草村凌河、熊井清明、

阪下和希、田向沙衣

 **アートハウス おやべ**
ARTHOUSE OYABE

〒932-0821 富山県小矢部市鷺島 10 クロスランドおやべ内

10 Washigashima, Oyabe-shi, Toyama, Japan

TEL: 0766-53-5344 FAX: 0766-53-5844

<http://www.art-oyabe.jp>

[交通のご案内]

□あいの風とやま鉄道石動駅より小矢部市営バス(メルバス)津沢線・津沢方面行

または正得線七社方面行「保健福祉センター」下車、徒歩2分

□あいの風とやま鉄道石動駅より加越能バス若林線・砺波市役所前行「鷺ヶ島」下車、徒歩16分

□お車をご利用の場合: 能越自動車道「小矢部東 IC」より約7分(無料駐車場: 800台)

